

# 電力会社の考える

# 原発の位置付け

エネルギー基本計画で原発をどう位置づけるか？  
についてはまだ結論が出ていませんが、当の電力会社はどう考えているのか？  
各社が出している「有価証券報告書」から記述を拾ってみました。

具体的には東京電力、沖縄電力を除く各社「有価証券報告書」の【対処すべき課題】という項目で  
原発の位置付けと思われる記述を引用しています。  
なお基本的には2012年度版(2012年4月～2013年3月)分から引用していますが、  
具体的な記述が無かった場合には2011年度版から引用した会社もあります。いずれにしても福島原発事故後のものです。

## 九州電力

2012年度有価証券報告書

<http://www.kyuden.co.jp/var/rev0/0042/0365/atjn4b9.pdf>

原子力発電については、  
**エネルギーセキュリティ**面や**地球温暖化対策**の観点から、  
その重要性は変わらないと考えている。

## 四国電力

2012年度有価証券報告書

<http://www.yonden.co.jp/corporate/ir/library/yuho/pdf/yuhofy2012.pdf>

基幹電源である伊方発電所の全台停止の長期化が、  
電力需給ならびに**収支・財務面**に重大な影響を及ぼしており、  
極めて厳しい状況が続いている。

## 中国電力

2011年度有価証券報告書

<http://www.energia.co.jp/ir/pdf/ir13-h23.pdf>

将来にわたって電力の安定供給を確保していくためには、  
原子力、石炭、天然ガス、水力などの各種電源の特徴を活かし、  
バランスよく運用することが重要。  
特に、**エネルギー資源の乏しいわが国**では、  
今後も安全性を最大限高めながら  
原子力発電を一定の比率で活用していく必要がある。

## 関西電力

2011年度有価証券報告書

[http://www.kepcoco.jp/corporate/ir/brief/securities/88/index\\_img/all.pdf](http://www.kepcoco.jp/corporate/ir/brief/securities/88/index_img/all.pdf)

平成24年度は、まず、わが国の**エネルギー安全保障**という視点から  
重要な電源である原子力発電について、  
安全確保を大前提とした原子力プラントの再稼働と  
電力需給の安定確保をはじめとする最優先課題に、  
全力で取り組んでいく。

# 北陸電力

2012年度有価証券報告書

<http://www.rikuden.co.jp/houkokusho/attach/201306yuuka.pdf>

**供給安定性、経済性に優れ、発電時にCO<sub>2</sub>を排出しないことから、ベース電源として今後も引き続き重要な役割を担う原子力の安全強化に徹底して取り組み、一日も早い再稼働を目指す。**

# 中部電力

2012年度有価証券報告書

[http://www.chuden.co.jp/corporate/ir/ir\\_siryoyukashoken/\\_icsFiles/afieldfile/2013/06/27/089yuuka.pdf](http://www.chuden.co.jp/corporate/ir/ir_siryoyukashoken/_icsFiles/afieldfile/2013/06/27/089yuuka.pdf)

**エネルギー資源の乏しいわが国において、化石燃料価格の高騰や地球温暖化という課題に対処しつつ、将来にわたり安定的にエネルギーを確保していくため、安全対策を徹底したうえで、原子力を引き続き重要な電源として活用することが不可欠であると考えております。**

# 東北電力

2012年度有価証券報告書

[http://www.tohoku-epco.co.jp/ir/report/security/pdf/h24\\_ho.pdf](http://www.tohoku-epco.co.jp/ir/report/security/pdf/h24_ho.pdf)

石炭やLNGなど化石燃料の需要が世界的に増大していくなか、エネルギー資源のほとんどを海外に依存しているわが国において、原子力発電は、安全確保を前提に、**エネルギーの安全保障、低炭素社会の実現**、さらには**経済性**の観点から重要な電源である。

# 北海道電力

2012年度有価証券報告書

[http://www.hepco.co.jp/corporate/ir/ir\\_lib/pdf/89securities.pdf](http://www.hepco.co.jp/corporate/ir/ir_lib/pdf/89securities.pdf)

**安定供給の確保と収支状況の改善のため、基幹電源である泊発電所の早期発電再開に取り組む**

どの会社も原発は重要だと言っているわけですが、その理由は大きく3つになりそうです。

1. 経済性
2. エネルギー安全保障
3. 地球温暖化対策

原発の本質的な問題である（っと私が考える）

- ウラン採掘から廃棄物処理まで被爆労働者が生まれ続け、
- 各工程で環境破壊を起こしまくり、
- ゴミの処理方法がなく、
- 事故が起きたら地球規模

という点は全く考慮されていないのですが、彼らは耳を傾けませんからねえ。

脱原発を目指すときには、

先に挙げた3つの理由に対抗していくしかないように思います。

。。もう2月ですが、今年目標です。